

平成 30 年度病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修

1. 目的

認知症の人が増加することが見込まれる中、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた良い環境で、自分らしく暮らし続ける事ができる社会の実現が必要である。そのために、認知症医療・介護等に携わる者が有機的に連携し、認知症の人のそのときの容態にもっともふさわしい場所で適切なサービスが切れ目なく提供されることが重要であるが現状はその対応に課題がある。本研修は、認知症に対する固定観念の払拭、認知症の入院患者・家族に対する理解と実践、チーム対応・院内連携への参加、院外の多職種・社会資源の把握と連携の実践を目的とする。

2. 研修対象者

県内病院勤務の医療従事者（医師、看護師、薬剤師、PT、OT、ST、栄養士、MSW、介護福祉士等看護助手）

3. 会場（3会場共通 300名定員）

地区	日程	会場	申込期限
東部	平成 30 年 10 月 16 日 10:00~16:45	沼津プラサヴェルデ コンベンション A-1	8 月末日
中部	平成 30 年 9 月 25 日 10:00~16:45	静岡 グランシップ 会議ホール・風	7 月末日
西部	平成 30 年 8 月 28 日 10:00~16:45	アクトシティ浜松コンgresセンター31 会議室	6 月末日

静岡県看護協会 HP [お知らせ](#) より申し込み、修了証書交付

- ・入力項目中 **生年月日** は必須項目です。
- ・申込済の方は直接会場へお越しください。受講決定通知書は送付いたしません。
- ・各会場とも定員になりましたら募集を締め切らせて頂きます。
- ・天候不順等による研修の開催可否は開催日の前日午後 4 時までにホームページで連絡することがあります。

4. プログラム（3会場共通）

研修時間	内容（ねらい）	講師等
10:00~ 10:15 (15分)	開会挨拶 静岡県内の認知症施策について ・研修目的の理解 ・認知症に関連する国・県の施策 ・一般病院での認知症対応のための体制整備の要点	静岡県看護協会 静岡県長寿政策課
10:15~ 12:15 (120分 内10分休憩)	認知症の人の視点で、認知症ケアに求められていることを理解する ・入院する認知症の人に起こっていること ・認知症の人の理解・認知症ケアの基本 ・行動・心理症状 (BPSD)、せん妄への対応 ・身体拘束ゼロへ向けて	浜松医科大学 臨床看護学 講座教授 鈴木みずえ氏
12:15~13:15 (60分)	昼食・休憩	
13:15~13:45 (30分)	地域連携、ご家族の立場から報告	認知症の人と家族の会
13:45~ 14:30 (45分)	・認知症の病型、症状、経過 ・治療薬について ・入院生活を支える医師の基本的役割	認知症疾患医療センター等 認知症（・せん妄）ケアサ ポートチーム 医師
14:30~14:40	休憩	
14:40~ 16:40 (120分)	・看護師、薬剤師、リハ職、相談職、入院生活を支えるスタッフの基本的な役割と院内連携上の役割 ・多職種連携、多職種で行うカンファレンス ・入院時・退院時カンファレンスの主な検討課題 ＜講義と事例検討＞	認知症疾患医療センター等 認知症（・せん妄）ケアサ ポートチーム 多職種 コーディネーター：浜松医 科大学 臨床看護学講座 教授 鈴木みずえ氏
16:40~16:45	修了証書交付	